



令和7年11月10日

学校だより

11月号

みんなが笑顔になる学校！



11月に入り朝夕は寒さを感じる季節となりましたが、日中は温かい日差しの中で子どもたちが楽しそうに遊ぶ姿も見られます。

学校は150周年記念イベントが終わったばかりで、片付けや掃除などまだやるべき事も多いのですが、毎日少しずつ普段の学校生活を取り戻しているところです。

今回のイベントには多くの皆様にお越しいただき、参加者の皆様からは「良かった」「楽しかった」「お疲れ様」などたくさんの好意的なお声をいただきました。

思えば、この取組が始まったのは今年の6月。限られた時間の中でこれほど盛大なイベントを開催することができたのは、林実行委員長を中心とする実行委員会の皆様、学校運営協議会の皆様、その他地域の皆様の温かいご支援とご協力があったからだと改めて感じているところです。皆様お一人お一人に直接お礼を申し上げたいところではありますが、この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

これまでの準備には苦労もありましたが、今となっては夜遅くまで実行委員会で打合せを何度も行った事もいい思い出となっています。私は、今回の取り組みを通じて、地域の皆様の「学校への想い」や「人とのつながり」を感じる事ができました。「地域あつての学校」だと強く感じました。私たちは、これからも「地域とともにある学校」を目指し、一歩ずつ進んでいきたいと思います。

しかし、その歩みには課題も感じています。これまで2回行われたKamuKamu交流Dayでは、まだまだ参加者も少なく、多くの方に参加していただくことの難しさを感じています。それでも諦めることなく、これからも2カ月に1回のペースで活動を積み重ねながら、少しずつ参加者が増えていくことを期待しています。そして、この会には地域の方々だけでなく子どもたちにも参加してもらいたいと思っています。そこで大人が取り組む姿を見て「学校を創っていくのも社会を創っていくのも自分たちなんだ」という当事者意識をもってもらいたいと思っています。一人一人がすべての問題を自分ごととして捉えることが、地域との連携を進めていく上での大切な出発点だと考えます。そして、そのゴールは「共同体感覚」にあると考えます。地域課題を解決していくことはとても大切なことですが、私がより重視しているのは、人と人との関係性や繋がりで、それは、地域の方々や子どもたち一人一人にとって、自分の存在が他者によって認められていると相互に感じられるような関係性やコミュニティを創っていくことです。これが私の目指すKamuKamu交流Dayの未来であり、この理念やビジョンをできるだけ多くの方々と共有していきたいと考えています。

保護者や地域の皆様におかれましては、これまでと同様に今後の学校教育そしてKamuKamu交流Dayへのご支援ご協力をお願いいたします。

次回のKamuKamu交流Dayは1月開催となります。日時等の詳細につきましては次号にてご案内させていただきます。

